

議員（渡邊 美喜子）

13番、渡邊 美喜子、一般質問させていただきます。

1点目は交通困難者対策で本町に見合った交通手段について

2点目は子ども・高齢者の食堂、居場所づくり支援について

以上2点の質問です。一問一答方式でお願いします。

1点目の質問は「交通困難者対策で本町に合った交通手段」についてであり、この関連のある質問は令和5年12月、令和6年3月、そして6月の定例会にも質問させて頂きました。今回で4回目になります。

令和6年3月定例会において町長答弁は高齢化の進行や運転免許証自主返納者の増加、核家族化、コミュニティの希薄化などの影響から移動困難者の交通手段についてのニーズは高まっており、町として交通手段を導入するか否かの検討ではなく、何を導入するのかといった具体的な検討のために実施するものです。

地域に合ったニーズと財政状況を鑑みながら、本町に適した交通手段の導入に向け、取組を進めて参りますと大変前向きな答弁を頂きました。

そして、令和6年6月定例会での町長答弁は「これからの多度津町の地域交通を考える」をテーマにワークショップ「自分ごと化会議」を4回ほど実施する予定です。

町民の方々の日常生活にもとづいた視点からより実態に則した地域交通に関する課題やニーズを話し合うことが出来るものと考えています。

会議の中では課題解決に向けた議論もおこなって頂き、最終的には町に対する提案書を提出して頂く予定、来年度以降にこの提案書を基に実証実験などの具体的な事業計画を策定する予定で地域交通に向けて事業を推進していきますなど具体的な答弁を頂きました。

ここで質問に入ります。4回のワークショップでの提案書を基にした本町に適した交通事業を伺います。

政策観光課長（吉田 拓也）

渡邊議員の4回のワークショップでの提案書を基にした本町に適した交通事業についてのご質問に答弁をさせていただきます。

自分ごと化会議については、無作為に抽出した住民800名の方の中から34名の方に委員となって頂き、立場や年齢を超えて本町の地域交通について熱心にご議論頂きました。

議員にも傍聴頂いた全4回の当該会議は終了し、現在、会議で出された委員の方々からの様々な意見を「提案書」に取りまとめる作業を共催事業者と各委員が中心となって進めているところです。

なお、令和7年2月6日（木）を目標に自分ごと化会議に参加した委員から町長に対して提案書を提出頂く予定となっており、今後はその提案書の内容を踏まえなが

ら、本町に適した「地域交通」の事業について具体的な検討を行っていく予定としております。

会議の中では、既存の移動支援施策については、「特定の必要な人には必要な事業であり継続した方がいい。しかし、対象者の中でも制度にマッチしない人も一定いる」との意見もあり、そこから現状の本町における地域交通の課題を解決するためには、デマンド型交通のような「誰もが使える総合的な交通手段」を導入し、既存の移動支援策の足りない部分を相互に補い合うような環境を整備することが必要ではないかとの意見が多く出されました。

現時点では正式に提案書が提出されていませんが、これまでの自分ごと化会議での意見を踏まえると来年度以降に、まずは、デマンド型交通に関する実証実験を行いたいと考えています。

なお、来年度以降に実施するその実証実験において判明した事業効果や課題に関して十分に検証を行った上で、既存施策の見直しなども含め、その先の本格導入にむけて、本町に真に適した地域交通の在り方を決定していきたいと考えています。以上、答弁とさせていただきます。

議員（渡邊 美喜子）

答弁を頂きました。具体的なデマンド型の交通実証実験を行いますと答弁を頂きました。

町民の方々の思いが叶うことに共催事業者、また、各委員、職員の方々など、関係者の皆さんに心から感謝を申し上げます。有難うございます。

また、自分ごと化会議を4回実施したことにより、既存の移動支援の足りない、相互に補いあう環境整備をすることがより一層明確になったこと。ワークショップを開催することによって、大いに効果があったと思えました。

それでは、次の質問です。先ほどの答弁と重複する点もあろうかと思いますが、地域交通について今後の事業計画や実証実験について伺います。

政策観光課長（吉田 拓也）

渡邊議員の地域交通についての今後の事業計画や実証実験についてのご質問に答弁をさせていただきます。

先程答弁させて頂いた内容の繰り返しになりますが、現在、共催事業者と各委員において作成が進められている提案書を来年2月に町長に対して提出頂き、まずは、その内容を十分に精査した上で四国運輸局などの地域交通に関する関係機関とも協議を行いながら、具体的な事業計画などの検討を進めていく予定です。

なお、現時点で未定ではありますが、来年度以降において、まずはデマンド型交通の実証実験を1年から2年程度の期間実施することを想定し、必要な準備を現在、進めているところでございます。以上、答弁とさせていただきます。

議員（渡邊 美喜子）

答弁頂きました。実は、今日の朝の四国新聞に乗り合いタクシー、来月6日から観音寺の大野原町でありますということが載っておりました。

その大野原町に合った交通対策と思います。

今後は、本町に合った交通対策に向けて、実証実験を行うことに大いに期待しております。よろしくお願ひしたいと思ひます。

ということで、本当にこれ、皆さんの多くの私も「チョイ来た」もしておりますが、多くの皆さんからやはり「チョイ来た」は、月に2回しか使うことが出来ない、そういう部分ありまして、全て福祉タクシーにおいても長短あります。

「チョイ来た」も長短があります。

また、今度、どういう風になるのかという部分もあるんですけど、それぞれがいいもの、また、こういうところはちょっとということがあろうかと思ひますので、この3つの大きな柱を選択制が出来るということで、本当に3つ補いながら交通困難者の対策は絶対これから特に必要かという風に思っておりますので、本当に今回、1歩2歩前向きに考えて頂いたことに、私、大変に今感動しておりますし、本当に町民の皆さんが、これを待ってたという風に私は思っておりますので、改めてお礼申し上げます。有難うございます。

そこで、次の質問に行きます。

次の2点目の質問は子ども・高齢者の食堂や居場所づくりなどについてであります。子ども食堂は全国で6,000箇所以上存在し、更に本年度に至っては前年より2割以上の1,040箇所にも増加した事がマスコミで報道されておりました。孤食解消のため、また子ども同士、親同士のコミュニケーションの機会・地域の多様な人との繋がりも育む・親や子どもの孤立防止（居場所）など大きな効果があります。

先日、丸亀市の子ども食堂へ見学に行かせて頂きました。

10名ほどの皆さんで行った訳でございますが、家庭的な雰囲気の中で子どもたちも自分からお手伝いを楽しんでおられました。

また、大人の皆さんも子どもとの触れ合いを楽しんでおられ、地域共生のための居場所だと痛感しました。

丸亀市は子ども食堂を実施する団体には補助金を交付する事業を実施しています。

また、フードバンクや地域の寄付の支援も大変に助かりますと話されておりました。

その中で子ども居場所づくりの支援内容であります。丸亀市社会福祉協議会、年間10万円程度の補助金、また善通寺市、保健福祉部子ども課、補助金額は1月当たり上限3万円、また小豆島町の健康づくり福祉課、補助金額1月当たり1万円、綾川町、子育て支援課、開催1回につき上限7千円（ひと月当たり上限4回）であります。

自治体により補助金額も異なりますが、子ども食堂が果たす役割は子ども達の健全育成に繋がるものと強く思っております。

地域で子ども、高齢者を含めた子ども食堂を開設してはと言う声が上がっております。

そこで、一般質問に取り上げさせて頂きました。

支援して頂くことで子ども食堂が多度津町全域に広がり、まさに地域共生の繋がる。支え合うことの一環と思いますが、いかがでしょうか。

質問に入ります。

本町において子ども食堂の支援の考えを伺います。町長、答弁をお願いします。

町長（丸尾 幸雄）

渡邊議員の子ども食堂支援の考えについてのご質問に答弁をさせていただきます。

子ども食堂に関する取組は民間発の取組として子どもの貧困対策だけではなく、食育の推進や地域コミュニティの中での子どもの居場所づくり、法人や地域の方々の社会貢献など様々な側面を持ち合わせており、継続して活動していくことで子育て支援にとどまらず、地域住民の交流拠点に発展する可能性があり、地域共生社会の実現に向けて重要な取組であると認識をしています。

ご紹介頂きました統計数値以外にも認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえの2023年度こども食堂全国箇所数調査結果によると全国9,132箇所、2022年度から1,769箇所増加し、香川県で105箇所、前年比で27箇所増加という統計結果もあります。

こうした子ども食堂の取組は、地域住民、各種団体、行政などが力を合わせ、生活課題を解決していくための計画である本町の地域福祉計画の趣旨に沿うものであり、大変有難く感じており、本取組がより一層広がっていくことを願うものであります。

今後、子ども食堂の取組を多く行っている先進地で、どのように活動が広がっていくのか関心を持っているところです。

本町としては、子ども食堂を地域づくりのパートナーとして、自主性、自立性を発揮し、継続して活動して頂けるように、どのような支援が必要なのか情報収集を行い、本町の財政状況を鑑みながらではありますけれども支援について検討したいと考えております。以上、答弁とさせていただきます。

議員（渡邊 美喜子）

答弁有難うございます。

子ども食堂、そして高齢者ということになるんですけども、地域の若い方から声が上がりました。

これはすごく素晴らしいことだという思いで、見学に行こうということで、今回正直言って1年前も行っております。

他のところへ、そしたらあまりにもそれが全然、白方地区というのか、この地区とかみ合わない部分があるということで、それはちょっと無理っていう部分が多分に

あったものですから、今度丸亀の飯山ということで行ったんですけど、ここだったら地域で頑張るんではないか、若い人も一緒になって盛り上げる。地域の活性化に向けて頑張れるんではないかということで、このたび一般質問に取上げさせて頂きましたが、実はこれを全国的に調べて見ますと、運営資金が足りないというのか、不足しているというのが57%も上がっておりますので、今回、一部取上げさせて頂きましたが、子ども食堂の実施につきましては、今後、地域の方々の理解、そして、協力っていう部分、まだ、ほとんど総会とか、そういう部分にお話をしながら、前へ向いて進めていかなければならないという分野であります。

例えば白方地区の社会福祉協議会、また、女性クラブのそういった集まりに対して皆さんにお話しして、そしてその上で進めていこうという風に思っております。

そういうことがやはり地域として盛り上がるんじゃないかなという風に思っておりますし、実は、先日、こういうのが送られてきました。

みんなで子どもを育てる県民運動ということで「みんなで子どもを育てる県民運動」は「君が好き！あなたが大事！」を合い言葉に地域の大人みんなで積極的に関わって、子どもを健やかに育ていこうという運動です。

一人一人が出来ることから行動起こしましょうということで、これは白方地区という風に限定はしたくないんです。

限定はしたくなくって、協力体制は白方という部分ですけれども、多度津町全域で広がっていけばいいし、参加して頂ける方はどうぞ来て下さいというようなことになろうかという風に私、思っておりますし、これもやはり地域の協力なしでは、前へ進めないという風に思っておりますので、また色々と新しい事業をするということには大きな色んな面で課題も多くあると思います。

その時に、やはり町としてご相談、また、ご指導等も受けたいと思っておりますので、せっかくこういう前向きな意見が若い人から出たということは、大切にしたいという風に思っておりますので、どうかよろしくお願いします。

その点いかがでしょうか。高齢者保険課長、お願い致します。一言お願いします。高齢者の食堂の件に関し、再質問をお願いします。

はい。高齢者ということで、子ども食堂というよりもそれも高齢者の皆さんも含めてということになっておりますので、お願い致します。

議長（小川 保）

質問だけお願い致します。もう一度。

議員（渡邊 美喜子）

再質問致します。この件に関しましては、子ども、そして高齢者の食堂ということに先ほど書いておりますので、そういった部分で、どのような考えがあるのか、ちょっとお聞き致します。再質問です。

副町長（岡部 登）

渡邊議員の再質問に答弁をさせていただきます。

町長が申しましたように、非常に大切なことは住民とそれから行政、それから議員の皆様方、一緒になって取り組んでいく非常に大切なことだと考えておりますので、今後、検討してまいります。

詳しいことにつきましては、高齢者福祉課長の方から申し上げます。以上、再質問に対する答弁とさせていただきます。

高齢者保険課長（松浦 久美子）

渡邊議員の再質問に答弁をさせていただきます。

今、高齢者の方に関しましては、高齢者の居場所づくりということで補助金を交付しております。

その内容と致しまして、おおむね65歳以上の住民対象の町内の施設において年間を通じて定期的に通いの場を提供する事業を要件としております。

月1回以上実施するもの、1回以上90分以上であるもの。年間を通じての参加者が合計5人以上であること、その要件に満たしておれば、1回につき2,500円の10分の9、2,250円を補助金として交付しております。

令和5年度の実績と致しましては、通いの場として26団体の方が申請されており、おおよそ240万円の補助金を支出しております。以上、答弁とさせていただきます。

議員（渡邊 美喜子）

答弁、申し訳ございません。急に振ったような形になりまして、一応、この質問は子ども兼高齢者ということで、2つの名前を入れておりますので、申し訳ありません。

居場所づくりのことにに関して関係があるのかなと思いますが、また、今後、そういった形で、願います部分があるのかなという風に思っております。

そういった意味で、一応、4月あたりから始めていこうという風に思っておりますので、そういう点、色んなところで情報がありましたら、どうぞ教えて頂ければという風に思っておりますので、よろしくお願い致します。

これもちまして、13番、渡邊 美喜子の一般質問を終わります。